

## 【指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	就労継続支援A型事業所クローバー			代表者氏名	牧野 旨孝				
事業所所在地	静岡県藤枝市益津353-1								
連絡先	電話番号	054-631-5507			FAX番号	054-631-5508			
職員数	8	定員	20	利用者数	25	(うち身体	2 知的	10 精神	13 その他
事業所の設置主体	社会福祉法人・民間企業					NPO法人・その他	設立年月日	平成23年2月1日	
改善計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日								

1 現在、指定基準第192条第2項を満たすことができていない理由と具体的な改善策  
(詳細かつ具体的に記載すること)

(未達成理由) 令和4年度は、指定基準第192条第2項を満たす事ができた。	(具体的改善策) 次年度は、さらなる収支向上の為、不採算部門になりつつある、冷凍餃子販売店の改善を重点課題とし、冷凍食品の商材の拡幅を行う。4月より冷凍ピザの販売を開始する。古着販売店も取り扱い商材を拡幅する。一例としてアクセサリーの取り扱いも開始する。リサイクルショップへの請負仕事・施設外作業として、11名出向しているが、その人数も14名まで増やしていくことで、請負作業料金も増加させていく。
--	---

2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>古着販売店運営</li> <li>冷凍餃子販売店運営</li> <li>インターネット販売 (ebay)</li> <li>リサイクルショップ請負作業 (現在11名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古着販売店運営 (アクセサリーコーナー展開)</li> <li>冷凍餃子販売店運営 (冷凍ピザの販売開始)</li> <li>リサイクルショップ請負作業 (14名目標)</li> </ul> 施設外に関しては、一般企業様に赴いての仕事となる為、社会性や作業力の高い者から選出する。

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性 (どのような資格、経験等を持った者が担当するか等) について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額 (1年間の額を記載)

現在の収入額	計画期間を通じて達成するべき目標収入額
3000万円	3000万円
(主な費目) 古着販売店利益 700万円 餃子販売店利益 100万円 インターネットebay販売利益 700万円 リサイクルショップ請負作業 1500万円	(積算根拠) 平均利用者数616人/月×平均労働時間4時間×時給950円×12か月 = 2800万円

(注) 目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額 (1年間の経費を記載)

現在の経費	計画期間を通じて見込まれる経費
250万円	70万円
(主な費目) 古着店・餃子店広告宣伝費 40万円 インターネット販売手数料 170万円 その他備品・送料など 40万円	(積算根拠) 販売店広告宣伝費 20万円 インターネット販売手数料など 20万円 その他備品・送料など20万円 ピザ看板費用・のぼりなど10万円

5 生産活動に係る事業の収入－生産活動に伴う必要経費

現在の「収入－経費」	計画期間後の「収入－経費」
2750万円	2930万円

6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	計画期間後の支払い総賃金額
2435万円	2800万円
(積算根拠) 令和4年実績に基づく	(積算根拠) 平均利用者数616人/月×平均労働時間4時間×時給950円×12か月 = 2800万円

事業所代表者署名欄 牧野 旨孝

※「現在」はいずれも、指定基準192条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。

※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。

## 経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
売上向上	取扱品目拡大	令和5年度一年間	・餃子販売店にて、冷凍ピザの取り扱い開始 ・古着販売店にて、アクセサリーの取り扱い強化
請負売上向上	施設外人数の増員	令和5年度一年間	・リサイクルショップ請負作業現在11名 ・1年間で14名まで増員を目標とする。
販路拡大	冷凍食品の催事販売	毎月に1回程度	・集客力のある店舗などの軒先を間借りして、冷凍食品を調理して販売する

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。通

(計画期間中の見込額)

単位：千円

令和5年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
収益	就労支援事業収益													0	
	就労支援事業活動収益計	2932	4052	2932	2932	2932	2932	2932	2932	3032	2932	2632	2932	36104	
費用	就労支援事業販売原価													0	
	期首製品(商品)棚卸高	3,000												3,000	
	当期就労支援事業製造原価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	当期就労支援事業仕入高	469	469	469	469	469	469	469	469	469	469	469	469	5628	
	期末製品(商品)棚卸高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	就労支援事業販管費													0	0
	就労支援事業活動費用計	242	60	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	702
就労支援事業活動増減差額		2,221	3,523	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,523	2,423	2,123	2,423	29,774	
支払い賃金総額		2,305	2,305	2,390	2,390	2,390	2,390	2,390	2,390	2,390	2,390	2,390	2,390	28,510	

(前年度実績)

単位：千円

令和4年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
収益	就労支援事業収益													0	
	就労支援事業活動収益計	4,506	2,881	4,909	2,786	3,846	3,535	4,114	3,363	2,981	2,691	2,936	2,543	41,091	
費用	就労支援事業販売原価													0	
	期首製品(商品)棚卸高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	当期就労支援事業製造原価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	当期就労支援事業仕入高	5,226	430	3,135	309	1,549	443	1,253	278	186	316	502	532	14,159	
	期末製品(商品)棚卸高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	3000	
	就労支援事業販管費													0	0
	就労支援事業活動費用計	384	224	185	111	379	229	326	254	70	83	144	75	2464	
就労支援事業活動増減差額		-1,104	2,227	1,589	2,366	1,918	2,863	2,535	2,831	2,725	2,292	2,290	4,936	27,468	
支払い賃金総額		1,923	1,966	2,160	2,150	2,312	2,065	1,951	1,975	1,978	1,912	1,958	2,000	24,350	